



Teleflex®

* 2023 年 8 月改訂 (第 2 版)
2022 年 4 月作成 (第 1 版)

届出番号: 13B1X00178000076

医療用品 04 整形用品
一般医療機器 X 線造影材入りガーゼ (32374000)
QuikClot X-ray カオリン止血ガーゼ

再使用禁止

【禁忌・禁止】

1. 再使用禁止、再滅菌禁止。
2. 本品は眼の処置には使用しないこと。[安全性が確認されていないため]
- * 3. ヘパリンナトリウム、塩酸クロピドグレル、ワルファリンカルシウム以外の抗凝固薬／抗血小板薬を使用中の患者には使用しないこと[安全性が確認されていないため](併用禁忌参照)
4. 体内遺残するため、閉創時に本品を体内に留置しないこと。

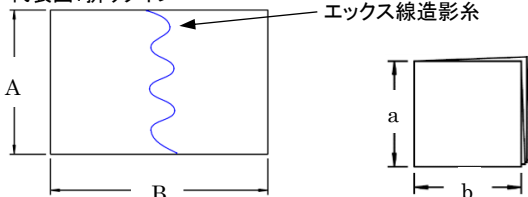
【形状・構造及び原理等】

<形状・構造等>

本品は、エックス線不透過糸付きの合成繊維から成る滅菌済み不織布ガーゼで、単回使用である。

- (1) 折りタイプ
- (2) 重ね折りタイプ (Z-folded)
- (3) ロールタイプ
- (4) ひも付きタイプ

代表図: 折りタイプ



<サイズ>

タイプ	幅 (A×B)	折りたたみ後の大きさ (a×b)
折りタイプ		5cm×5cm
		10cm×10cm
重ね折りタイプ (Z-folded)	7.5cm×3.7m	
	7.6cm×3.7m	
	10.2cm×3.7m	
ロールタイプ	7.6cm×3.7m	
ひも付きタイプ	30cm×30cm	

<原理>

本品を直接創傷部にあて、本品が血液等を吸収することにより止血に寄与する。

<材質>

血液・体液・粘膜等に接触する部分の原材料を以下に示す。
ポリエステル / レーヨン不織布、カオリン、グリセリン、精製水、ポリプロピレン / ポリエステル糸、ナイロン糸、綿糸、綿、ポリ塩化ビニルテープ

【使用目的又は効果】

本品は、局所出血部位、外科的切開部や外傷等の出血の抑制、液の吸収のために用いる。

【使用方法等】

1. 本品による止血方法
 - (1) 本品をパッケージから取り出す。
 - (2) 本品を出血源に直接接させ、本品の上から出血源に徒手的に圧迫を加える。また、穿通性外傷の場合は、本品を穿通経路に詰めることもできる。(本品が複数必要になる場合がある)
 - (3) 3～5 分間、又は出血が抑えられるまで圧迫を続ける。(徒手圧迫後、出血が止まるまで包帯により圧迫を維持する方法でもいい)
 - (4) 本品は最大 24 時間そのまま適用にしておくことができる。

2. 製品の取り外し

- (1) 本品を創傷部からそっと取り除く。本品を取り除くのが難しい場合は、滅菌生理食塩水で本品を濡らして取り除くこと。
- (2) 本品を取り除いた後、創傷部をやさしく洗浄して残存する可能性のあるカオリンを取り除く。

<使用方法等に関連する使用上の注意>

1. 本品は、実際の出血源に接触させる必要がある。出血の近位部に貼ることで、止血に影響を与えることはできないため。
2. 患者が病院に輸送され、本品が創傷部に適用されたままの場合は、医療関係者に製品の取り外し方法を示すこと。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- (1) 高血圧、肥満、又は薬物での抗凝固療法を受けている患者には、より長い圧迫時間が必要になる場合がある。
- (2) 本品は吸収性ではないため、閉創する前に、本品を創部から取り除き、生理食塩水で創傷部全域を洗浄すること。
- (3) 出血が続く場合は、本品の追加使用や他の止血処置を行うこと。
- (4) 本品の使用は、24 時間を超えないこと。

2. 相互作用

* (1) 併用禁忌

医療機器の名称	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
ヘパリンナトリウム、塩酸クロピドグレル、ワルファリンカルシウム以外の抗凝固薬／抗血小板薬	本品が安全に使用できない可能性があるため、併用しないこと。	本品と併用したときの安全性は確認されていない。

【保管方法及び有効期間等】

保管方法:

水濡れ、高温、多湿、直射日光を避け、常温で保管

使用期間:

24 時間以内

有効期間:

包装上に記載 (自己認証データによる)

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

テレフレックスメディカルジャパン株式会社

カスタマーサービス Tel: 0570-055-160